



私の逸品

数々の特許を持つ「建物改修専門メーカー」

(株) エスジー

詳細は WEB で！ (沼津支部)

静岡同友会 検索

特集

障害者問題全国交流会 in 愛媛

共に学び、共に働き、共に暮らす地域を創る！

志太支部30周年事業

「広域連携による地域創生」～目覚めよ！志太榛原の中小企業～

会員訪問記

朝日 康典氏 (株)朝日鉄建・富士宮支部 山本 坂衛氏 山本電機(株)・榛原支部

シリーズ

経営指針 ～激動の時代の羅針盤～ 久高 洋司氏 (株)高栄塗装・静岡支部

その他
主な内容

支部だより、富士支部同友会まつり、静大連携講座、新入会員紹介、時評、友達の輪、イントロin三島

平成27年度 重点課題

- ① 経営指針を成文化し、社員との共有・実践で、時代に対応する強靱な企業づくりを進めます。
- ② 中小企業憲章推進の運動を広げ、中小企業振興基本条例制定をめざします。
- ③ 元気な企業と地域をつくるため、会員増強目標1200名を早期に達成します。

第18回障害者問題全国交流会in愛媛

障害者問題の取り組みの輪を広げよう

参加631名

10月22日～23日の2日間、松山市の全日空ホテルを会場に「共に学び、共に働き、共に暮らす地域を創る」をテーマとし、第18回障害者問題全国交流会が開催されました。

オープニングは福島出身、障がい乗り越え希望の歌声を響かせる本田知美氏の歌からスタート。続いて、県立三島高校書道部が書いた大迫力の看板の前で、山本万喜雄氏（愛媛大名譽教授・聖カタリナ大学教授）が問題提起しました。『子育て讃歌』の著書をもつ先生は、同友会の共有ちの考え方は豊かで自立した人育てへと繋がっていくと話されました。引き続き5分科会と特別分科会の大きな学び、地元ゆるキャラが並ぶ懇親会。

二日目には、事業協同組合の説明と藤田一郎氏の事例報告。内田五郎中同協障害者問題委員長から「障がい者を取り巻く諸問題に取り組み、誰もが暮らしやすい共生社会をつくっていこう」と行動提起がありました。



内田五郎氏が行動提起



参加者全員で記念撮影！



報告者・河合浩史氏、
座長・桑崎雅人氏

第1分科会 <共に働く【経営労働】>
“人を幸せにする機械づくり”で
地域社会に貢献
～指針成文化で見たものづくりの原点～
報告者：河合 浩史氏（板橋工機株式会社代表取締役・静岡同友会）

第1分科会の報告者は、我が静岡同友会で副代表理事を務める沼津支部の河合浩史氏（板橋工機株式会社・沼津支部）。板橋工機株式会社は、人間の作業する力をできる限り省く「省力化機械」の設計、製造、販売を行っています。河合氏はある日、自社の機械導入によって障がいのある方の仕事がなくなり退職したことを知り衝撃を受けます。「省力化」が「省人化」になってはいないか？自社の存在意義について疑問を抱くようになった河合氏は、県の経営指針を創る会への参加を経て「お客様の生産現場の問題解決」という新たな理念にたどり着きました。河合氏は自社の設備が障がい者雇用に結びつくことを願っています。そして、彼らの働きたいという意欲を発揮できる「人を幸せにする機械づくり」を人生のテーマを掲げ、お客様が障がい者雇用できる環境づくりに向け全社で取り組んでいます。経営環境の改善を目的とする我々にとって、障がい者雇用の環境改善を目指す河合氏の取り組みは、私にとっても学ぶべきものであり実践すべきものであると心から思いました。

三田 宏一氏（㈲エムケイテクノ・三島支部）

第5分科会 <共に暮らす【ソーシャルインクルージョン】>
夢がもてる若者を一人でも二人でも！
～児童養護施設・里親家庭の子どもを対象にした
適職探索支援とBefriending運動の取り組み～
パネリスト：前川 順氏（ジュンブライダル 代表取締役・京都同友会）、
澤 亮太氏（児童福祉施設 迎陵園 主任児童指導員）
コーディネータ：大槻 裕樹氏
（㈱大槻シール印刷 代表取締役会長・京都同友会）

児童養護施設とは、保護者のない児童、虐待されている児童など、環境上養護を要する児童を入所させ18歳になるまで援助する施設です。昔の言葉で「孤児院」といえば理解し易いかもかもしれません。18歳を過ぎると、施設を退所しなければならず、自分の住居、仕事を一挙に得なければなりません。当然ながら、高校卒業しすぐに就職することは大変困難であり、また掃除、洗濯、自炊と生活の全てを自分で行わなければなりません。保護者が不在ということで、企業への就労はやや難しいのが現状です。

その就労支援に京都同友会のジュンブライダルの前川社長は支援を始めました。自分の会社はもとより、同友会の仲間にも呼びかけて、急に働き就労を失敗するのではなく、面接や実習を行い、働くということを実感させ、夢を与え続けています。暗い性格だった児童が、だんだん明るい性格へと変化していくことを実感できているそうです。

パネリストの前川氏は、障がい者というくくりの中だけでなく、社会的弱者の枠を広く考え実践を行っています。地域社会と共に歩む中小企業という同友会の理念を実践垂範している事例と発表でした。

伏見 修氏（㈱富士山ドリームピレッジ・静岡支部）

SHIDA 30th! 原点から攻める

～静岡に志太あり、志太に同友会志太支部あり～



北村正平藤枝市長による来賓挨拶

私たち志太支部は創立30周年を迎え、10月24日（土）に小杉苑（藤枝市）を会場に、記念事業を行いました。式典、パネルディスカッション、懇親会の三部構成で行い、来賓に井林辰憲様（衆議院議員）、牧野京夫様（参議院議員）、北村正平様（藤枝市長）をはじめ、志太榛原地区の行政、商工会議所、商工会、また大学、金融機関、NPO法人の皆様のご臨席のもと総勢約100名のご参集を頂きました。

パネルディスカッションでは「広域連携による地域創生～目覚めよ！志太榛原の中小企業！～」をテーマに、山本尚史氏（拓殖大学教授）、村松庄太郎氏（島田市商店街連合会長）、知久正博氏（代表理事）、松葉秀介氏（志太支部長）の4名のパネリストが、大石人士氏（静岡経済研究所常務理事）のコーディネートのもとで行いました。同友会活動がエコノミックガーデニング（EG）とリンクし、地域振興に役立つ手法であることを改めて感じる事ができました。懇親会でも福田克己氏（副会長）との歓談の中でEGについての議論を交わし、さらに認識を深めました。最後に、初代支部長の杉村征郎氏をはじめ歴代支部長たちを囲みながら、参加者一同で記念撮影を行いました。 瀬路 雄二郎氏（㈲ワークシステム・志太支部）



パネルディスカッション
（左から、大石人士氏、山本尚史氏、村松庄太郎氏、知久正博氏、松葉秀介氏）



次回は40周年！

志太支部30周年記念式典を終え思う事

藤枝市長様はじめ、藤枝・島田・焼津の行政担当、各地商工会議所、商工会の代表者、金融機関、大学、支援機関、そして私たち地域の中小企業経営者が一堂に集まり、広域連携による地域創生についての意見交換を行う事が出来ました。エコノミックガーデニング、中小企業振興基本条例、広域連携…、色々な言葉は着実に浸透しつつありますが、具体的に誰がどのように推進していくのか？ということ、参加者それぞれの立場で考えるきっかけとなったのではないのでしょうか。30周年という節目の記念事業で、このような企画が実現できたことは、ひとえに歴代支部長、諸先輩たちの地道な信頼関係の積み重ねの結果であり、現在の取組の継続の結果であると再認識しました。私の座右の銘でもある「継続は力」をこれからも意識し、自社経営、支部運営、行政との関係構築において、小さなチャレンジの継続を地域全体の力にしていけるよう、頑張ってます。榛原支部はじめ、他支部からもたくさんの皆さんに参加いただき、ありがとうございました。支部の仲間の絆、パワーを改めて実感した周年事業でもありました。40周年に向け、START!!

松葉 秀介氏（㈱松葉倉庫・志太支部長）

小さな志太支部の頑張り

この創立30周年記念事業は、10年前の20周年記念事業以来、志太支部にとって大きなイベントでした。実行委員会のメンバーは周年事業を経験したことのない会員がほとんどで、手探り状態からの船出でした。そこで、20周年事業の資料を基に記念式典、パネルディスカッションを企画していきましました。来賓の皆様へのご出席依頼、会場の設営、参加人数、予算、公告広報など、実行委員を中心に各セクションで知恵を出し合い、何度も意見交換をし、時には後戻りをしながら、当日を迎えました。開会前、そして開会してからも、志太支部会員全員が緊張していました。何か忘れていないか？アクシデントがあったらどう対処しようか？それぞれのセクションでは閉会まで落ち着かなかったと思います。

今回の記念事業は支部の節目と地域の連携が主な目的でしたが、右往左往しながら準備をした結果、支部の絆が更に強くなったことが一番の収穫と思えました。懇親会で、無事に終わったと安堵し楽しく過ごしている仲間を見て、10年後の40周年は大丈夫と確信しました。

戸塚 康之氏
（㈲アスカエンジニア・志太支部創立30周年事業実行委員長）

支部だより

静岡例会

静岡市ってなくなっちゃうの？ ～人口減少であなたの会社はどうなるのか？～

10月13日(火) ペガサート 参加39名



望月 賢一郎氏

望月賢一郎氏をはじめとする3名から、災害への備え、人材育成、地域資源の活用、女性・障がい者雇用の各面からの事例紹介がありました。望月氏はこれらを踏まえ、中小企業と行政

の関わり合い方について「中小企業が直面している諸問題は、産業政策のみで解決し得る範囲を越え、教育、防災、福祉などあらゆる行政分野に及んでいる」と述べました。そして、中小企業が各々の立場から地域を考え、地域に関わる全ての人で活力ある個性豊かな地域を創っていくための「中小企業振興基本条例」の必要性を報告しました。人口減少という「待ち構えている現実」に、地域に根差す中小企業はどのように対峙するのか？受身ではなく、中小企業をはじめ地域に関わる全ての人が、それぞれの得意なことや担うべき役割を全うすること、そのための宣言と仕組みづくりが、生き生きとした未来に必要だと思いました。

活力ある地域づくりは、中小企業の自主的・自立的活動のひとつです。その活動を円滑にし、中小企業が確かに地域の活力を引き出す核（コア）となれるよう、そのための条例づくりが必要と感じました。地域が絡む問題に参加者は悩みながらも、活発な意見を交わし合うことができました。

望月 一夫氏 (袖師の望月鐵工・静岡支部)

榛原例会

干されてたまるか！ヤマカ水産

10月15日(木) さざんか 参加35名



小松 寛氏

報告者は、沼津支部の小松寛氏 (有ヤマカ水産)。干物市場が縮小傾向にある中で小松氏は、経営指針を創る過程で自社の強みを掘り下げ、「加工技術」という強みを生かしながら「洋食文化に合う干物」を開発しブランディングすることを考えます。そして、同友会での出会いから見事に商品開発を果たし、現在は新市場を切り拓くべく

様々なイベントや催事に参加している、とのことです。最後に小松氏は「伝統技術を強みとして継承し、地域に沼津の干物文化を伝えながら、新事業にも挑戦していく」とこれからの決意を示しました。

バズテーマは「あなたの企業の強みは何ですか?」。グループ発表では、会社の強みを創り上げているのは社員だということや、強みを考えることは同時に弱みを探ることにもなり、自社を見つめる良いきっかけになったという意見、伝統的なものは「残す」ということに固執しがちになる中で新たな市場を切り拓く報告者の姿勢は素晴らしい、という感想が述べられました。

富士宮例会

『人を幸せにする機械づくり』で地域社会に貢献 ～指針成文化で見えたものづくりの原点～

10月9日(金) 志ほ川 バイパス店 参加51名



河合 浩史氏

障全交での報告を直前に控えた河合浩史氏 (板橋工機(株)・沼津支部) を招いての10月例会。オーダーメイドで省力化機械等の設計製作を手掛ける同社ですが、省力化機械によって障がい者が働く場を奪うのではなく、生産現場の問題を解決し、障がい者と共に生産し、共に幸せになれるものでなければならない。そう決意した河合氏は、多くの苦労の中「高齢者や障がい者の作業効率を上げるための省力化機械」「リハビリ効果も期待される機械」を実現しました。そしてさらなる研究・挑戦を日々続けています。

その情熱の根源には、同友会入会以後に体験した失敗や叱咤、顧客先での出来事、経営指針を創る会でとことん考え抜いた自社の事業定義と経営理念、そして、河合氏が人生のテーマとして掲げる「働く意欲があれば、障がいのあるなしに関わらず生産に100%貢献できる、その手助けができる機械をつくる」という強い想いがありました。

利益や効率だけではない、人としての幸せを追求する河合氏の姿に、逆に「私たちは人を幸せにする〇〇づくりをしているか」ということを考える貴重な発表となりました。

田邊 元裕氏 (有カボスメディアワークス・富士宮支部)

支部だより

沼津例会

静岡県経済の現状と、中小企業振興条例制定の必要性 ～沼津市における制定の意義とは～

10月21日(水) プラサヴェルデ 参加54名



山本 義彦先生

今回は条例に関する講師例会のため、沼津商工会議所、沼津市商工会、沼津市産業振興部、そして沼津市議会議員の皆様方等、多数のオブザーバがご参加くださいました。

冒頭、中小企業憲章と中小企業振興条例の概要と意義を、県政策委員でもある桑崎雅人氏(㈲島村歯車製作所)が説明しました。続いて、静岡大学名誉教授の山本義彦先生に講演していただきました。

地域に活力を生むためには、我々中小企業が元気になることが必要ですが、個々の企業の頑張りだけでは限界があります。それを、地域全体で支える為の仕組みを形成し、約束しあう為にこの振興条例の制定が必要である、ということが分かりました。既に富士市、富士宮市では条例を制定しており、三島市も今年条例を制定する予定とのこと。沼津市でも人口減少が進んでいますが、同友会が地域振興の課題に率先して取り組み、地域で「人を生かす経営」を実践することを通して雇用の拡大が実現され、地域の活性化につながっていくように、沼津市にも中小企業振興基本条例が制定されることを望みます。

坂本 大輔氏(㈲三陽住宅・沼津支部)

三島例会

理念の実践で三方よしの会社へ

10月26日(月) 三島商工会議所 参加21名



高木 基氏

報告者は、全県経営フォーラムin富士宮の発表者でもある高木基氏(バリュー・トーカイ㈱)。当日と同テーマで、リハーサルの形で行われました。高木氏は、自身の経歴や経営指針・経営理念、そして独立起業するに至った経緯、そ

れまでの職歴からの学びや経営哲学を説明。そして、自分自身の失敗、しかし同友会の「我が経営を語る」例会で先輩経営者達の赤裸々な失敗体験を聞いていたからこそ最小限で食い止めることができたこと、このことに感謝し同友会のすばらしさを感じたことなどを報告しました。

今後の事業展開と同友会活動、中小企業振興条例への取り組みまでの流れ、という高木氏の報告の後、「第一分科会を成功させるために必要なこと～厳しのご意見をお願いします～」というテーマでバズセッションを行いました。そこでは、もっと詳しく聞きたい箇所や、簡略してもよいのではないかと内容、時間配分の他、支部メンバーが感じている高木氏の熱い人間性の部分をもっと語ってほしいなどの意見が挙がりました。「三島支部代表として行ってきます」と言う高木氏に、各グループ、そして三田支部長からエールを送りました。

佐藤 浩美氏(㈲佐藤葬具店・三島支部)

第23回 富士支部同友会まつり

10月3日(土) 富士市中央公園

今年で23回目を迎える同友会まつり。10月とは思えないほどの暑い日差しの中、会員たちの熱気で会場の気温はさらに2～3度高くなっていたのではないのでしょうか。



さて、私は今年、実行委員長の大役を承りました。委員長として特に意識したのは伝統ある祭りのコンセプトを引き継ぐことです。これは企業での経営理念に当たるもので、同友会まつりでは、①会員の親睦、②社員の福利厚生、③同友会の告知 となっています。同友会まつりという事業の継承者として、これらのコンセプトを自分の物として落とし込むことが重要だと考えました。

祭りが終わった今、どれだけコンセプトに沿って実践できたかと省みています。まず客観的に事実を把握することが大切だと思い、データに目を向けました。例えば①会員の親睦について、もちろん当日会員同士で盛り上がったのですが、残念ながら支部の会員数は祭りの前に比べて減少してしまっています。何が原因で、どうしたら改善できるのか。②と③についても同様に、会員の方々から意見を聞きながら改善策を考えるとところまでが自分の役目だと思っています。

最後に、大変な役でしたが、今後この経験を自社の経営に生かせるのが楽しみです。



佐野 純也氏(㈱山十佐野製作所・富士支部)

静岡大学連携講座始まる

今年で8年目を迎えた「企業経済特論Ⅳ」の講義が、毎週水曜日に行われています。受講生は約100名、中小企業の経営者の生き様や経営哲学に触れ、中小企業ならではの魅力や企業の姿を知る機会になっています。

第1講 10月7日(水) 「日本経済における中小企業の果たす役割と意義、この講座の目的と意義」 遠藤 一秀氏 (株)遠藤科学(株)

日本経済・地域経済で70~80%のウェイトを占め、工業付加価値額の50%以上を産み出し、地域社会の担い手としても大きな役割を果たしている中小企業。経営学の教科書では語られない中小企業の果たしている社会的役割や、中小企業の多様性に富んだ魅力を多角的・客観的に伝えました。



第2講 10月14日(水) 時代環境と中小企業経営 佐野 譲二氏 (株)和泉運送

中小企業を取り巻く環境が大きく変化する中で、経営者は情勢を正しく分析し時代を読むことが重要です。厳しさの続く経営環境の中、「自立」をキーワードに自社、社員、経営者、地域を捉えて経営戦略や方針を打ち立て実践する事例や、大局観を持って新しい時代を模索する事例を伝えました。

第3講 10月21日(水) 中小企業の経営戦略 知久 正博氏 (有)知久太田会計事務所

中小企業の役割と重要性、そして常に変化する経営環境の中での経営戦略について理念に基づく経営、顧客満足主義、人間尊重経営、差別化戦略、数値に基づく経営等の観点から伝えました。また、「なぜ?」と常に考えることの大切さや夢・目標を持つ事の大切さを学生に伝えました。



第4講 10月28日(水) ありがとうと言われる会社をつくり、人をつくり続けます 勝俣 智史氏 (株)フィットコーポレーション

『ありがとう』は感謝と敬意の込められた言葉。今自分があるのは、両親、会社、地域のおかげ。」と、人を育て、地域を活性化させる経営者の想いの根底を学生に示しました。また、就職活動を控えた学生に対して、企業を選ぶ上でその会社がどんな理念を掲げているかを見ることも大切と伝えました。



連載～激動の時代の羅針盤～ 経営指針 第54回

私が25歳の時に親方が亡くなり、1年後に独立をして職人仲間10名程で5年間がむしやりに仕事をしていました。5年目を過ぎる頃から、利益率や職人との考えのズレなどから悩みが増え、やる気がなくなり、何をしたらいいのか分からないう状態になっていました。そんな時、遠藤良二氏(株)メテックス建築事務所・静岡支部)に創る会のことを聞きました。ペンキを塗っている私が、経営の勉強などした事がなかったのですが、今の状況を変えなければ潰れてしまうと思っていたので1年間恥をかいても勉強しようと思創る会を受講することにしました。

創る会の内容は私には難しく、初めはなかなか理解できませんでした。夏の一泊研修の発表では、あるスタッフの方に「誰に向けての理念なのですか?そんな雇用体系では社員ではない!」と指摘を受け、当時は何も言えませんでした。それだけ私の経営がいい加減で、会社と呼べるような状態ではなかったのだと、今でははつきりと理解出来ています。それでも何とか卒業することが出来ました。結局、創る会で、私は1年間時間を作りスタッフの方々に助言をして頂き、自ら深く考え、これから向かうべき方向を成文化し、指針書を作成したのだと思います。

卒業後はやる事が明確になり、創業時のやる気も出てきました。会社を整えて良い会社にしたいの思いから、社員との衝突や判断に迷うことも多々ありましたが、1年かけて悩み考えた指針書、理念があるのでブレずに実践、実行出来ているのだと思います。まだまだやる事は尽きませんが会社も社員も私もバランス良く成長することで、お客様に良い仕事を提供出来るのだと思います。

経営指針を創る会第6期卒業生
久高洋司氏(株)高栄塗装・静岡支部)

地域と共に歩み、夢をかたちに

(株)朝日鉄建

代表取締役 朝日 康典氏 (富士宮支部)

事業内容：総合建設業、鉄鋼工事業、建築設計事務所
(木造住宅、鉄鋼住宅、工場、倉庫、テナ
トハウス、鉄骨金物製作)

設立：1972年1月

従業員数：正規7名

入会：2008年5月

所在地：富士宮市北山5285-9

(株)朝日鉄建URL <http://asahi-yume.jp/tekken/>

朝日夢工房URL <http://asahi-yume.jp/>

波乱万丈のスタート

創業1972年、2代目社長、朝日康典氏の経営者人生の始まりは波乱万丈でした。社会に出て設計事務所での勤務後、初代社長である父親の体調不良を機に28歳で入社。しかし、その後も家族の病気や様々なトラブルが起きて、想像を絶する苦労が続いたそうです。無事なんとか危機を乗り越えて、2010年12月1日に代表取締役社長に就任しました。そんな朝日氏の精神的な支えの1つに同友会がありました。

朝日氏と同友会

社長就任の2年前の2008年、取引先の紹介で入会。本音で熱く深く語り合える同友会に魅力を感じ「毎回行

きたい」「参加しないと置いて行かれる」と感じるくらいに、同友会の学びに刺激を受ける日々。経営指針委員会にも参加して経営理念も制定。進むべき道に迷いが無くなって自信が生まれ、社員やお客様との関係性がどんどん良い方向に向かっている、と朝日氏は言います。



朝日 康典氏 (中央)

持続可能な社会へ 朝日夢工房

(株)朝日鉄建の経営理念の中にあるのは「持続型社会」の文字。住宅は一生に一度の高い買い物であるのに、早く傷んでしまい易く、寿命の短い住宅が多くあります。この事に危機感を持った朝日氏は「朝日夢工房」ブランドを立ち上げました。地球環境にやさしく、かつ日本の風土にあった木質繊維を利用した素材で断熱を施工法等により、調湿、結露防止、防火、防音、防虫などを実現しています。末永く、ほっと安心できる、それでいて「カッコかわいい」家の完成に、お客様の笑顔があふれています。

今後は経営理念により磨きをかけて、地域と共に歩み、夢をかたちにする朝日鉄建・朝日夢工房をさらに成長させていきたいと、ビジョンを語っていました。

取材・文 田邊 元裕氏 (南カボスメディアワークス・富士宮支部)

制御を基軸に、幅広い分野で活躍

山本電機(株)

代表取締役 山本 坂衛氏 (榛原支部)

事業内容：食品用包装機・医療用機械・工作機械・茶
刈機等制御盤製造、制御設置、制御ライン
のメンテナンス等

設立：1976年1月

従業員数：正規14名、パート9名

入会：1997年11月

所在地：牧之原市勝間684-3

URL：<http://www.yamamoto-denki.jp/>

独学から始まった制御盤製作

昭和49年頃から、お茶を詰めた袋に窒素を充填する機械の制御盤の製作依頼を受け、独学で研究・勉強して、窒素充填機の制御盤製作を手掛けるようになります。その後、事業対象の幅を拡げ、現在では製茶機械の輸送システムやお茶刈機、医療機器、浄水器など、様々な制御システムの開発、販売を行っています。「機械の制御は、分野を問わずあらゆる場面で行われているので、応用が利く。だから、制御盤の技術を基軸に、いろいろな業界や市場に参入できている」と、自社のコア・コンピタンスについて山本氏は語ります。

同友会入会を機に自己変革

山本氏は、同友会入会后、支部内各委員会の委員長や、平成24年度の榛原支部長を務めてきました。会を通じて出会った多くの経営者の熱い想いに刺激を受け、自身と照らし合わせて「このままではいけない」と思い、自己変革に努めてきた、と語ります。また、同友会の3つの目的である「よい会社をつくろう・よい経営者になろう・よい経営環境をつくろう」を常に意識しながら経営している、とのこと。



山本 坂衛氏 (左)、
鈴木 克哉氏

これからの展望として

山本氏は、3年ほど前から茶業以外にも農業関係に強い関心を抱いており、トマトの点滴栽培やイチゴの温湿度制御、太陽光パネルを利用した凍霜害防止灌水盤、炭酸ガス制御装置・ヒートポンプ用インターフェースの開発などを手掛けています。

既存顧客の業界の領域に捉われず、新たな分野へと幅広く進出していく山本氏。これからもユーザーの期待に応え、活躍の場を拡げていくことでしょう。

取材・記事 鈴木 克哉氏 (緑ガーデンプラン季風庭・榛原支部)

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数970名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者	氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
いいだ たつや 飯田 達也	(有)飯田店 酒類・食品・冷凍食品・雑貨販売	伊東	三田 宏一	もり としひろ 森 敏博	(有)マル与森建築 木造住宅および店舗の設計・施工	静岡	佐藤 真己
あまの えくこ 天野恵久子	(株)IPシンフォニー 静岡支社 企画プロデュース、広告・企画・宣伝、人材育成・研修、商品企画・卸・販売	三島	石川 英章	かわ もり 河守 英昭	カワモリ 工業用ポリエチレン袋、包装資材	榛原	三輪 雅則
あおき まさかず 青木 雅一	青木園芸 レンタルグリーン、花壇植栽・管理、庭木剪定・管理、花器注文販売、花木注文販売	静岡	久高 洋司	しんどう ゆうじ 進藤 雄二	(株)シンドウ商店 公共施設・一般住宅、給排水衛生設備工事、合併浄化槽工事、水道施設工事、水廻りリフォーム工事	榛原	水野 悦裕
すぎやま いくや 杉山 郁也	(有)杉山プラスチック工業 アクリル什器、エンピシ溶接、看板制作	静岡	佐藤 真己	はしだ しんいち 橋田 真一	S. C. S 床・ガラス等の清掃作業、住宅等の清掃作業	榛原	山本 正巳
ながさか かずひさ 長阪 一久	幸工業 木造家屋解体	静岡	齋藤 寧				

※新会員の写真はe.doyo「ユーザ名簿」にアップします。e.doyoからのご確認をお願い致します。

時評 何処に我が身を置くか ～朱に交われれば赤くなるか～

今期で10期目を迎える共学ゼミ(小松ゼミ)に、私は今年度から参加しています。出席する度、皆さんの読書力に感心させられ、「場違いかな」と思うこともよくあります。実のところ、私はあまり読書をしない方で、本を読み始めると次第に睡魔がおそい、眠くなってしまいます。こんな私ですが、「人口減少から何を読み取るか」「脳科学から何を自分に当てはめ、どう自分に活かせるか」など、その時の課題図書に則した皆さんの話を聞きながら、自分なりに考えています。

ところで「朱に交われれば赤くなる」という諺があります。人は交わる友や環境によって良くも悪くもなる、という意味です。「門前の小僧習わぬ経を読む」という諺があります。普段から見聞きして慣れていけば、知らず知らずその物事に習熟する、という意味です。どちらも、自分が身を置いた環境に影響され、いつの間にか自分が変わっている、ということを表しています。自分が何処に身を置くかが、その先の自分の成長に大きく関わってくると思えます。ただし、単に「身を置く」というだけでは、大きく変わらないのではないのでしょうか。思考を巡らせ、想像を凝らし、自分に不釣り合いと思われほど素晴らしい環境の中でもがかなければ、その素晴らしい環境にいる自分に酔うだけで、自分の成長に繋がれないと思うのです。

「場違いかな」という思いは、これからも消えないかもしれません。またこれからも、そういった場所に出くわすことでしょう。しかし、自分の成長のため、私はあえてそのような場所に身を置きたいと思えます。

望月 一夫 (有)袖師の望月鐵工・静岡支部

友達の輪 第20回

こんにちは。印鑑・印刷製造販売をしております、静岡支部・(有)ティーパワーの若杉幸秀です。今回は増田崇さん(有)リアス・榛原支部)からご指名を頂きました。増田さんとは経営指針を創る会の同期ですが、その後仕事での相談をお互いしたこともなく、同友会の中で同じ活動をしたわけでもなく、なんとなく知り合いになり、一緒に夜の街へと繰り出すことが多くなりました。恐らく、名刺交換よりも携帯電話の番号を交換した方が先ではないでしょうか。特別な出会いの機会ではなく、なんとなく知り合いになり、気が合った仲間というのはそうそう無いと思いますが、よくよく考えると、増田さんの人懐っこい笑顔や会話の楽しさなどに魅了されたのかもかもしれません。ただ、飲んでいるときもたまに仕事の話や同友会活動について熱く語る増田さんに刺激を受け、「自分も頑張らなければ」と思う場面もしばしばです。これからは末永く夜の街に元気に繰り出せるよう、お互い健康に注意しながら、仕事も同友会も、がんばりましょうね。

さて、次にご指名させていただくのは、三田宏一さん(有)エムケイテクノ・三島支部)です。三田さんとは静岡支部と三島支部の合同ゴルフコンペでお世話になったご縁です。同友会で落語を披露していただいたこともあり、とても多芸・多趣味の方です。今は三島支部の支部長としてばりばり活動されています。それでは三田さん、よろしく願いいたします。

若杉 幸秀氏 (有)ティーパワー・静岡支部



同友会イントロセミナー IN 三島

10月15日(木) 参加35名

今回は新しい試みで、性格分析から営業の仕方を考えていこう!とポテンシャルプロファイリングセミナーを開催しました。30人弱のオブザーバが集まり、笑いも起こる楽しいセミナーになりました。「21日間やり続けると習慣になります。そして、人格が変わります。そして人生がより良く変わります」とは、溝口和廣先生の名言です。お金をかけず新しい視点を広げていく事、経営者自身が変わる事で営業成績を上げていくきっかけになって欲しいと思います。

石川 英章氏 (ISHIKAWA LABO・三島支部)



溝口 和廣氏

皆様にご協力頂いた「平成27年台風第18号等大雨災害義援金」、304,742円を中同協にお送りしました。ご協力、誠にありがとうございました。

同友会 三つの 目的

1. 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。
2. 同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。
3. 同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。